あぶた福祉会

第88回

友愛フェスティバル開催

9月26日（土）、第17回「友愛フェスティバル」を秋晴れの中で実施しました。

今回の食事は、「焼き鳥」「鶏皮餃子」の他、毎年定番になっているそばに加え、おでんを販売しました。そばは「きつねそば」、おでんは「たまご、大根、天かま」の3種盛りのラインナップとなっています。また、さぽーとステーションの地域食堂「ア・ターブル」で人気がある「バターチキンカレー」を、今年も「ミニカレー」として販売しました。食事はかなりボリューム感があり、特に「ミニカレー」「きつねそば」は今年も大盛況の声が聞かれ、皆さん満足していました。

縁日では、「わくわく釣り」「わくわく輪投げ」のコーナーを設けました。利用者の皆さんもそうですが、当日来ていたお子さん達も楽しんでおり、常に行列ができていました。利用者も真剣に釣りと輪投げを行い、景品を受け取ると嬉しそうに職員へ見せている姿が印象的でした。また、「キャラメルポップコーン」の販売も行い、こちらも好評の声が聞かれました。



即売会のコーナーでは、デイセンターあすなろのパンの販売をしました。パンは毎年人気があり、ありがたいことに完売となりました。また、友愛の里の日中活動班作業グループが栽培したシイタケの販売も行いました。今年は、天候の関係もあり、昨年よりも少ない個数での販売となりましたが、こちらも好評につき完売となりました。さらに、いちばんぼしで作製した「回収袋・野菜保存袋・封筒・ペーパーバック・サービス袋・アクリルたわし」など手芸品も販売しました。

ステージでは、利用者が数名所属している琴クラブ「風雅」による演奏が披露され、お琴の心地良い音色が会場全体に広がり、最後は大きな拍手が起きていました。

その後は待ちに待った食事販売と即売会・縁日コーナーの開始です。アナウンスと同時に食事のブースにはすぐに列ができており、保護者と一緒に食事を楽しむ人や利用者同士で食事を楽しむなど笑顔があふれていました。また、すぐに食事のブースには向かわず、縁日コーナーで楽しむ利用者や即売会のコーナーで買い物をする人とそれぞれ楽しんでいました。

食事を運んだ頃合いを見て、余興のアナウンスです。今回は、「ゆきの助」さんに忍者ショーを披露していただきました。例年とは一味違いアクロバティックな演技やジャグリングと迫力のあるステージに皆さん釘付けの様子でした。



息つく間もなく、「シンガー悠」さんによる歌謡ショーです。皆さんが知っているポピュラーな音楽から、最近の音楽まで幅広く歌っていただき、利用者も一緒に手拍子をしながら口ずさんでいました。最後の余興は利用者の皆さんによるカラオケ大会です。ステージ前には、観客が集まり、一番大きな盛り上がりをみせて終了となりました。



今年も清水自治会を始め、町健康福祉課、洞爺ライオンズクラブ、保護者ボランティアなどたくさんの協力のもと、無事開催することが出来ました。協力をいただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。